

## 1 「書くこと」における第2学年の目標及び評価規準

### (1) 目標 (CAN-DO リスト)

趣味や物事について、相手からの依頼に対し、情報を基に自分の考えを、つながりのある文章を書くことができる。

### (2) 評価規準 (「書くこと」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて書こうとしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、「読むこと」や「話すこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

## 2 単元の目標と評価規準

### (1) 目標

調査結果を踏まえて自分の意見や考えをまとめるために、各国の相違点について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことをまとまりのある文章で書くことができる。

### (2) 評価規準 (「書くこと」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 形容詞や副詞を用いた比較表現の文構造を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分が住んでいる地域について、事実や自分の考え、気持ちなどを、形容詞や副詞を用いた比較の表現を正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>外国の人に自分が住んでいる地域について興味をもってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p>	<p>外国の人に自分が住んでいる地域について興味をもってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書こうとしている。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■教科書の対話文を読み、文章構成の特徴を意識しながら考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている未知語の意味や原級に-er、-est を付けて比較級、最上級の構造と意味を理解する。</p>			
2	<p>■調査結果などを説明する言語活動で得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、自分の考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○必要な情報や表現を選択し、活用しながら、自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○再度、文章構成の特徴を意識しながら、必要な情報や表現を選択し、活用しながら、自分の考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで話した内容を踏まえ自分の考えなどを書く。</p>			
3	<p>■教科書の対話文(第1時で読んだ対話文の続き)を読み、文章構成の特徴を意識しながら、自分の考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている未知の語の意味や原級に more、most を付けて比較級、最上級の構造と意味を理解する。</p>			
4	<p>■調査結果などを説明する言語活動で得られた情報や表現を選択したり抽出したりするなどして活用し、自分の考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○必要な情報や表現を選択し、活用しながら、自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○再度、文章構成の特徴を意識しながら、必要な情報や表現を選択し、活用しながら、自分の考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで話した内容を踏まえ自分の考えなどを書く。</p>			
5	<p>■教科書の対話文(第3時で読んだ対話文の続き)を読み、文章構成の特徴を意識しながら、自分の考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている未知の語の意味や比較(like ~ better / like ~ the best)の構造と意味を理解する。</p>			

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
6	<p>■ALT からのメールを読み、相手の依頼内容に沿って文章構成の特徴を意識しながら、自分の考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる。</p> <p>○教科書本文とは別のメール文を読み、文章構成の特徴を意識しながら、考えたことや感じたこと、その理由などをペアで伝え合う。</p> <p>○再度、メールの返信内容に関して、文章構成の特徴を意識しながら、考えたことや感じたこと、その理由などをペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで話した内容を踏まえ自分の考えなどを書く。</p>			
7	<p>■メールの返信文を読み、伝える内容を整理し、自分の考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○メールの返信文を読み、文章構成や表現などに関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○再度、メールの返信文の文章構成や表現に関して、推敲し修正する。</p>			
8	<p>■教科書の対話文(第4時で読んだ対話文の続き)を読み、文章構成の特徴を意識しながら、自分の考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている未知語の意味や比較(as ~ as)の構造と意味を理解する。</p>			
9	<p>■メールの返信文を読み、伝える内容を整理しながら、自分の考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。</p> <p>○メールの返信文を読み、文章の構成や表現などに関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>○再度、メールの返信文の文章構成や表現に関して、推敲し修正する。</p>			
10	<p>■グラフやランキングを使い、比較を正しく用いながら、教師やALTにこの課で扱った調査結果について説明する文を書くことができる。</p> <p>○ペアになり、教師やALTに調査結果についてグラフやランキングを使いながら説明する。</p> <p>○教師やALTに調査結果について説明する。</p>	○		
11	<p>■初見のメールを読み、文章構成の特徴を意識しながら、自分の考えたことや感じたこと、その理由等を説明する文を書くことができる。</p> <p>○メール文を読み、考えなどをペアで伝え合う。</p> <p>○ペアで話した内容を基に自分の考えたことや感じたことを書く。</p>	○	○	○

### 3 パフォーマンステスト

#### (1) 内容

インターネットで見つけた website の内容、道東のおすすめの場所について、ALT からの依頼に対し、website の情報とその情報を基にした自分の考えを、つながりのある数文の文章で書き、提案する活動

#### (2) 準備する課題

＜ピーター先生からのメールの内容＞

＜問題資料＞

今度の週末、アメリカから友達が来ることになった。その友達は北海道の文化について学んだり、おいしいご飯を食べたりしたいと言っている。インターネットで書かれている内容が道東を紹介する website を見つけたが日本語で分からないので、どんなことが書いてあるのか、どこに行くのがおすすめなのかを教えてください。

＜文章例＞

《文章例》

Hi, Peter. I'm fine. How are you? The website says, Shiretoko is the most popular place in Eastern Hokkaido. It has beautiful nature, so you can see waterfalls and eat delicious food. But I think Lake Akan is better than Shiretoko because your friend wants to learn about Japanese culture. You can learn about Ainu culture and eat delicious wakasagi there. You should go there!



#### (3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	「b」に加えて、様々な視点から自分の意見や意見に対する理由を詳細に書いている。	「b」に加えて、様々な視点から自分の意見や意見に対する理由を詳細に書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	ALT によりよく伝わるように、①ランキングの内容と自分の意見を分けて書き、②文と文の順序や相互の関連など、文章構成の特徴を意識しながら文章を書いている。	ALT によりよく伝わるように、①ランキングの内容と自分の意見を分けて書き、②文と文の順序や相互の関連など、文章構成の特徴を意識しながら文章を書こうとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

## 1 「書くこと」における第3学年の目標及び評価規準

### (1) 目標 (CAN-DO リスト)

関心のある事柄について、考えたことや感じたことを簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。

### (2) 評価規準 (「書くこと」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて書こうとしている。</p>

## 2 単元の目標と評価規準

### (1) 目標

ALTに日本の歴史などについて理解してもらうために、日本の歴史上の人物等について、事実や自分の考えを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

### (2) 評価規準 (「書くこと」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 関係代名詞を用いた文の構造を理解している。</p> <p>[技能] 日本の歴史上の人物等について、事実や自分の考えなどを、関係代名詞などの簡単な語句や文を用いて説明する技能を身に付けている。</p>	<p>ALTに日本の歴史などについて理解してもらうために、日本の歴史上の人物等について、事実や自分の考えを、簡単な語句やまとまりのある文を用いて書いている。</p>	<p>ALTに日本の歴史などについて理解してもらうために、日本の歴史上の人物等について、事実や自分の考えを、簡単な語句やまとまりのある文を用いて書こうとしている。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	■ある人物やものについての説明を聞いたり、読んだりして、その内容を理解することができる。(接触節) ○「どこで買ったか」「誰が使っているか」などを理解する。			
2	■人物やものについて、詳しい情報を加えて説明することができる。(接触節) ○自分のものについて紹介する。			
3	■ある人物についての説明を聞いたり、読んだりして、その内容を理解することができる。(関係代名詞 who) ○テレビ等に登場する人物について、どのような人物か理解する。			
4	■人物について、詳しい情報を加えて説明することができる。(関係代名詞 who) ○身近な人物や有名人を選んで、その人物について説明する。			
5	■英文を読んで、その内容が理解することができる。 ○読んだ内容を理解し、歴史上の人物への理解を深める。			
6	■ものについての説明を聞いたり、読んだりして、その内容を理解することができる。(関係代名詞 which, that) ○「どこで買ったか」「誰が使っているか」などを理解する。			
7	■ものや人物について、詳しい情報を加えて説明することができる。(接触節、関係代名詞) ○自分の好きなものについて説明する。			
8	■アウンサン・スーチー氏について関心をもち、読み取ることができる。 ○読んだ内容を理解し、国際平和について関心を高める。			
9	■ものについての説明を読んだり、聞いたりして、その内容を理解することができる。 ○説明されたものを具体的に理解する。			
10	■アウンサン・スーチー氏について関心をもち、読み取ることができる。 ○アウンサン・スーチー氏の生き方について理解を深める。			
11	■自分の好きな人物やものを伝え合うことができる。 ○ペアになって、相手に好きな人物やものを伝える。			
12	■ALT に日本の歴史上の人物等を伝えることができる。 ○ALT に歴史上の人物等を根拠を明確にして伝える。	○		
13	■人物に関する発表を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。 ○話しの要点を意識しながら話された内容を理解する。	○		
14	■関心のある事柄について、考えたことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 ○歴史上の人物について説明する文を書く。	○	○	○

### 3 パフォーマンステスト

#### (1) 目標

日本の歴史上の人物や建物等を1つ選び、それについて説明する文を書く活動

#### (2) 準備する課題

##### ①場面設定

日本の歴史に興味をもち、日本の歴史について学んでいるALTが、歴史ファイルを作成しようとしている場面

##### ②ALTのリクエスト



I like studying Japanese history.  
I want to know about some historically famous Japanese people.  
I also want to know about historical books, buildings, pictures and so on.  
I want to make a Japanese history file. Please choose one.  
Please write the name and explain it on your worksheet.

#### (3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	「b」に加えて、自分の考えや歴史上の意義等について詳細を書いている。	「b」に加えて、自分の考えや歴史上の意義等について詳細を書こうとしている。
b	誤りが一部あるが聞き手が内容を理解できる英文で書くことができる。	例文を読んで、①英文を引用するなどしながら、②選択した人物等について考えたことや感じたことその理由等を書いたり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら書いている。	例文を読んで、①英文を引用するなどしながら、②選択した人物等について考えたことや感じたことその理由等を書いたり、③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1: 読んだ英文を引用するなどしている。

条件2: 自分の考えたこと、感じたこととその理由を書いている。

条件3: 相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら書いている。